

設定した解決したい課題

イチゴ新品種に合った栽培管理を生産者に提案するため、試験栽培している。試験中の生育をリアルタイムに細かく観察することで、品種特性を解明したい。

解決の方向性（採択企業との協議結果）

県内の6圃場に2種類（近接撮影1種類、圃場全体を遠隔操作で観察用1種類）のクラウドカメラを設置し、リアルタイム映像での観察、撮影記録による経時的な生育や果実形成の変化を調査する。リアルタイム映像や撮影データは、関係者で共有・活用する。



これまでの活動成果（現状報告）

- ✓ 9月に全体的な工程および計測指標(KPI)を計画した。「愛きらり」生産者の中から、実証対象となる農家を選定した。
- ✓ 10/11～12に現地調査を実施し、クラウドカメラの設置方法や必要な部材を確認した。10/24～25に機器を設置した。



現時点での課題と対応方針

- ✓ 11月よりクラウドカメラを用いた実証圃場におけるデータの収集・観測を開始する。
- ✓ 「愛きらり」の生育や果実形成の経時変化を調査する。
- ✓ クラウドカメラの導入効果を試験場だけでなく、生産者や農業改良普及課など、それぞれの評価を確認する。

実証実験の計画

- 方法：測定機器（クラウドカメラ）を用いて生育データを収集する。
- 期間：2023年11月上旬～12月末頃を予定
- 評価：拡大展示試験圃場の調査における導入効果、クラウドカメラのイチゴ生産における導入効果